



【バスケットボール男子決勝・八学光星－弘前実】  
第4クォーター、光星は高橋亮斗がシュートを決め、82－66とする＝青森市マエダアリーナ

# 光星3連覇

男子

バスケットボール

【男子】  
青森市マエダアリーナ  
▽準決勝  
八学光星 90 | 56 工大  
弘前実 78 | 68 弘前工

八学光星 82 | 19 22 | 66 弘前実  
22 | 15 11 | 11  
22 | 22  
勝 (八学光星は3年連続4度目の優勝)

▽決勝  
柴田 71 | 15 16 | 66 弘前実  
16 | 24 16 | 22  
16 | 6  
勝 (柴田は5年連続16度目の優勝)

○：バスケットボール男子  
攻めの姿勢貫く

子は、八学光星が堂々の3連覇を達成。ゴール下で力強いプレーを続けた高橋亮斗は「自分たちを信じて最後まで攻め続けた。最高の結果」と手放しで喜んだ。ゴールに向かい続ける姿勢が勝利を引き寄せた。決勝で、選手たちは「誰にでもできることをしっかりとやろう」と、リバウンドやリースボールに食らい付くことを徹底。



【バスケットボール男子】3連覇を達成した八学光星の選手ら

一度シュートを外しても諦めずに次のチャンスを狙い、得点を積み重ねた。昨年は初戦敗退に終わったインターハイ。高橋は今年にはベスト16入りが目標。誰にでもできることを徹底すれば、絶対に結果はついてくるはず」と力を込めた。